● クラブフォーラム①

IT 委員会 委員長　下舘貴子

ＩＴを利用することで、例会へ多くの会員が参加できるように 運営をサポートします。過去２年間以上、リアル例会の開催が行われませんでしたが、今後も同様の事態が起きたとしても、例会運営が滞りなく行われるようにサポートしてまいります。
また、海外の姉妹クラブとの交流や帰国した元留学生との交流も、ＩＴを通して活発に行いたいと思います。

戦略計画委員会 委員長　早船雅文

ロータリーは単年制のため中長期ビジョンの継続が難しいところがあります。
戦略計画委員会では、川口ロータリークラブの３年～５年を期間とした中長期ビジョンを見据え、その為の戦略計画をRI・地区・会長等方針に添いながら実践していきます。

同好会紹介

●ゴルフ同好会

部長の
朝日恵子会員

●ダンス同好会

部長の
本庄久子会員

TOPICS

7月16日13:00より、川口市民ホールフレンディアにて、地区の管理運営部門、公共イメージ部門、会員増強・維持部門、DEI推進委員会の合同セミナーがありました。
川口RCより岡村睦美会員(管理運営部門委員長)、新井秀雄会員(会員増強・維持部門委員長)、大竹純会員(会員増強維持委員長)、請川かおり会員(RLI運営委員長)、内田剛史会員(RLI委員)、多田竜一会員(規定審議会検討委員)、網谷徹己会員(会員増強・維持委員)が地区としてセミナー運営に携わりました。

●事務局
〒332-0012
川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124
FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

次回予定

7月28日　定例会
会　場／ 一徳
点　鐘／ 12:30～

同好会 発表

次々回予定

8月4日　定例会
会　場／ 銀座アスター
点　鐘／ 12:30～

国際奉仕委員会原田敬美委員長
・ヒューストン国際大会報告
・中堰RCと中継

2022-2023　KAWAGUCHI ROTARY CLUB

週報

題字：江連 俊裕

No.02

●定例会
第3021回
2022年7月21日配布

Rotary
国際ロータリー第2770地区
第11グループ
2022-23 年度
会長：白井 靖　幹事：中村 大祐

イマジン
ロータリー

あいさつ

会長　白井　靖

7月12日火曜日に東京青山RCに10名でメークアップに参加しました。参加の皆様、お疲れさまでした。スタートアップの例会時間か1時間30分も驚きましたが、会長の弾き語りの歌2曲歌ったのも大変勉強になりました。同じテーブル席の方が東京羽田RCのパスト会長で、例会場が飛行機が見える空港内のスペースで会員は航空関係の方が多いと伺いました。水曜日の昼の時間が例会だそうです。ぜひ、メークアップに伺いたいと思っております。

本日は来週おこないますポリオ・ウクライナ募金についてお話いたします。ポリオに関しては、ご存じの会員もいらっしゃると思いますが、あらためてお話いたします。まず、ポリオに関してはロータリークラブの最重要項目として過去35年以上にわたり根絶活動をおこなってきました。

ポリオとは、主に5歳未満の子供が感染する可能性があり、身体麻痺や、時には死に至ることもある感染性疾患です。ウイルスは典型多岐に汚染された水を介し、人から人へうつり、神経系を攻撃します。ロータリー会員はこれまでに21億ドル以上と無数のボランティア時間をこの活動に捧げ、122カ国の30億人近い子供を、身体まひを引き起こすポリオから守ってきました。

今日、ポリオがまだ存在する国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国となっていますが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。ポリオ活動を今やめてしまうと、10年間のうちに、毎年ポリオによって身体まひとなる子供が20万人になると予想されています。2022年5月30日現在でパキスタン3人、アフガニスタン1人、モザンビーク1人の5人となっています。

ウクライナのRCと募金の現状

ウクライナのRCですが、62クラブあり会員は1，100人おります。ローターアクトクラブは24あり300人以上の会員がおります。戦争以前は、アフガニスタンから難民を多く受け入れております。紛争の犠牲者に医学的、心理的支援をすると同時に、最前線に住む人々に救援物資提供など、さまざまな事業も実施いています。

ロータリークラブとしての寄付の現状をご報告します。まず、2022年3月3日～4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべての寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援がおこなわれている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、ロータリーは1,500万ドル以上の寄付を募り、水や食料、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のためにすでにこの資金を活用しています。現在までにこの戦争による被災者支援のために、128件の災害救援補助金総額380万ドルが授与されています。ロータリー財団は引続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道支援活動に活用していきます。

私たちも、少しではありますがウクライナの支援のために募金活動をやらせていただきます。
21日はよろしくお願いいたします。